

## 第4章 資料編



1.生活環境の概要  
 (1) 公害防止協定基準

公害防止協定指導基準一覧表

(昭和56年6月1日改正)

区 分		指 導 値 等
大 気	硫 黄 酸 化 物	1. 県民の生活環境の保全等に関する条例総排出量規制対象工場等の場合 K値2.34 以下 2. 上記以外の場合 K値 2.34 以下かつ硫黄酸化物排出量 1.042Nm <sup>3</sup> /H以下であること。
	窒 素 酸 化 物	大気汚染防止法で定めるばい煙発生施設の種類のうち、県民の生活環境の保全等に関する条例該当施設については、大気汚染防止法で定めるそれぞれの最小規模施設の規制値を目標値とする。
	ば い じ ん	1. 大気汚染防止法対象施設については、同法に定める特別排出基準値を指導値とする。 2. 県民の生活環境の保全等に関する条例対象施設については、同条例規則第9条附表第三の第二欄に掲げる施設の種類ごとに、同表第四欄に掲げるばいじん量を指導値とする。
	粉 じ ん	排出口から排出する粉じん濃度の目標値は、0.05g/Nm <sup>3</sup> 以下とする。
水 質	水 銀 及 び ア ル キ ル 水 銀 そ の 他 の 水 銀 化 合 物、 ア ル キ ル 水 銀 化 合 物、シアン化合物、 有 機 リ ン 化 合 物	検出されないこと。
	カドミウム及びその化合物	0.01mg/L以下
	鉛 及 び そ の 化 合 物	0.1mg/L以下
	六 価 ク ロ ム 化 合 物	0.05mg/L以下
	ひ 素 及 び そ の 化 合 物	0.05mg/L以下
	pH	6.0～8.5
	BOD { じ尿浄化施設 特定施設 (生産施設排水)	20mg/L以下 10mg/L以下
COD { じ尿浄化施設 特定施設 (生産施設排水)	20mg/L以下 10mg/L以下	

区 分		指 導 値 等
水 質	SS	<ul style="list-style-type: none"> <li>し尿浄化施設 30mg/L以下</li> <li>特定施設 10mg/L以下</li> <li>(生産施設排水)</li> </ul>
	n-ヘキササン抽出物質(鉱物性)	1mg/L以下
	n-ヘキササン抽出物質(動植物性)	5mg/L以下
	フエノール類	0.5mg/L以下
	銅	0.5mg/L以下
	亜鉛	3mg/L以下
	鉄	5mg/L以下
	マンガニン	5mg/L以下
	クロム	1mg/L以下
	フッ素	7mg/L以下
大腸菌群数	1,500個/cm <sup>3</sup> 以下	
PCB	検出されないこと。	
騒音	昼間 AM8:00～PM7:00	70デシベル以下
	朝夕 { AM6:00～AM8:00	65デシベル以下
	PM7:00～PM10:00	
夜間 PM10:00～翌日AM6:00	60デシベル以下	
振動	昼間 AM7:00～PM8:00	70デシベル以下
	夜間 PM8:00～翌日AM7:00	65デシベル以下
悪臭	臭	敷地境界において悪臭(生活環境をそこなうおそれのある不快なにおい)を感知させないこと。
廃棄物等		廃棄物等の種類、量、成分とその処分方法を明確にし、二次公害の発生防止対策をとること。
環境整備		工場内の緑化を積極的におこなうとともに、敷地内の清掃管理に努めるものとする。

## (2) 公害防止協定締結状況

公害防止協定締結工場・事業場一覧表

(平成29年3月31日現在)

No.	工 事 ・ 事 業 場 名	所 在 地	事 業 内 容	締結年月日
1	三菱レイヨン(株) 豊橋事業所	牛川通四丁目	織 維 工 業	S 46. 9. 30
2	レンゴー(株)	中 原 町	段ボール製品製造	S 47. 10. 20
3	(株)ウッドワン 東海製造部 豊橋工場 集成材製造課	明 海 町	住宅用内装部材製造	S 50. 3. 20
4	(株)総合開発機構	〃	明海埠頭、港湾諸施設の運営	S 50. 3. 20
5	(株)新来島豊橋造船	〃	船 舶 の 建 造	S 50. 3. 20
6	ビューテック(株)東海事業所豊橋工場	〃	ガラス加工、樹脂成形品製造	S 50. 3. 20
7	住友大阪セメント(株)・太平洋セメント(株) セメントサービスステーション	〃	セ メ ン ト 倉 庫	S 52. 8. 31
8	協同組合東三河輸送センター	〃	運 送	S 52. 11. 18
9	(株)ウッドワン 東海製造部 豊橋工場 床材製造課	〃	住宅用内装部材製造	S 53. 6. 7
10	吉野石膏(株) 三河工場	〃	石 膏 製 品 製 造	S 53. 10. 16
11	キョーラク(株) 豊橋工場	〃	合成樹脂製品製造	S 55. 6. 10
12	花王(株) 豊橋工場	〃	石 鹼 洗 剤 製 造	S 55. 8. 6
13	向島運送(株) 豊橋営業所	〃	運 送	S 55. 9. 27
14	愛知陸運(株) 大崎営業所	〃	運 送	S 56. 4. 17
15	小島産業(株)	〃	輸送用機械器具製造	S 56. 8. 18
16	トヨタ紡織(株) 豊橋北工場	〃	輸送用機械器具製造	S 56. 8. 24
17	柳田運輸(株) 豊橋営業所	〃	運 送	S 57. 2. 5
18	武蔵精密工業(株) 明海工場	〃	輸送用機械器具製造	S 57. 3. 13
19	豊橋工業団地協同組合	〃	各 種	S 57. 7. 23
20	(株)江口巖商店 田原出張所	〃	塗料・接着剤販売	S 57. 9. 17
21	コカコーラセントラルジャパン(株) 豊橋セールスセンター	〃	清涼飲料水販売	S 58. 1. 17
22	イシハラ(株) 豊橋工場	〃	石 膏 ボ ー ド 加 工	S 58. 5. 9
23	(株)食研 豊橋工場	〃	冷凍食品、食品機能素材製造	S 58. 5. 12
24	明石整備(株) 明海工場	〃	自 動 車 整 備	S 58. 10. 27
25	ランクセス(株) 豊橋事業所	〃	化学品輸入販売	S 58. 11. 10
26	林テレンプ(株) 豊橋工場	〃	車 両 用 内 装 販 売	S 58. 12. 22
27	オカジ紙業(株) 豊橋工場	〃	ダンボール箱製造	S 59. 2. 17
28	(株)エスラインギフ 豊橋支店	〃	運 送	S 59. 7. 25
29	川西塗装(株) 第二工場	〃	プラスチック塗装	S 59. 9. 19

No.	工 事 ・ 事 業 場 名	所 在 地	事 業 内 容	締結年月日
30	池田鉄工(株) 豊橋工場	明 海 町	一般機械器具製造	S 59. 11. 30
31	伊勢湾海運(株) カオリン倉庫	〃	倉 庫	S 59. 12. 7
32	旭硝子(株) 愛知工場 田原基地倉庫	〃	窯業・土石製品製造	S 60. 3. 8
33	(株)不二プレシジョン	〃	冷凍冷房機器製造	S 60. 4. 23
34	トヨタ紡織(株) 豊橋東工場 (明海町 3-56)	〃	輸送用機械器具製造	S 60. 4. 30
35	中部セキスイハイム工業(株)	〃	住宅ユニット製造	S 60. 5. 17
36	ヒロセ(株) 豊橋工場	〃	建設機械器具リース	S 60. 9. 6
37	ペトロトランス(株) 明海油槽所	〃	油 槽 施 設	S 60. 10. 21
38	トヨタ紡織(株) 豊橋南工場 (明海町 5-12)	〃	自動車内装品製造	S 60. 12. 16
39	(株)ジェイテクト 豊橋工場	〃	輸送用機械器具製造	S 60. 12. 28
40	(株)デンソー 豊橋製作所	〃	輸送用機械器具製造	S 61. 5. 30
41	(株)三五 とよはし工場	〃	輸送用機械器具製造	S 61. 9. 16
42	(株)ヤマグチマイカ 豊橋工場	〃	鉱物粉碎等処理	S 62. 5. 18
43	川西塗装(株) 第三工場	〃	プラスチック塗装	S 63. 1. 25
44	(株)シミズ工業	〃	運送用機械器具製造	S 63. 3. 8
45	レンテック大敬(株)	〃	建設機械器具リース	S 63. 6. 18
46	豊橋飼料(株)	〃	配合飼料製造	S 63. 6. 27
47	辻鉄工(株)	〃	住宅建材加工	S 63. 7. 14
48	磯辺運輸倉庫(株) 豊橋営業所	〃	運 送	S 63. 10. 25
49	日本全薬工業(株)	〃	医薬品製造	H 1. 1. 23
50	(株)中野屋銘木店	〃	木造住宅用部材製造	H 1. 2. 22
51	服部産業(株) 豊橋営業所	〃	木製品製造	H 1. 3. 15
52	(有)丸守高津飼料商会	〃	飼 料 製 造	H 1. 3. 15
53	アスモ(株)	原 町	電気機械器具製造	H 1. 5. 12
54	(株)オービス 東海工場	明 海 町	製 材 ・ 木 工	H 1. 6. 2
55	パーカー加工(株) 豊橋工場	〃	金属表面処理	H 1. 10. 31
56	中部電力(株) 岡崎支社	〃	電 力 事 業	H 2. 1. 22
57	豊橋港陸運(株)	〃	運 送	H 2. 2. 8
58	トピー工業(株) 豊川製造所 明海工場	〃	輸送用機械器具製造	H 2. 2. 20
59	メルセデス・ベンツ日本(株)豊橋事業所	神 野 西 町	自動車関連製品輸入販売	H 2. 2. 20

No.	工 事 ・ 事 業 場 名	所 在 地	事 業 内 容	締結年月日
60	旭千代田工業(株) 豊橋工場	明 海 町	金属熱処理加工	H 2. 3. 20
61	渥美運輸(株)	〃	運 送	H 2. 3. 29
62	三栄運輸(株) 豊橋営業所	〃	運 送	H 2. 6. 4
63	豊橋センコー運輸(株)	〃	運 送	H 2. 10. 25
64	フォルクスワーゲングループジャパン(株)	〃	自 動 車 販 売	H 3. 3. 25
65	(株)豊橋原木センター	〃	運 送	H 3. 4. 3
66	(株)朝日製作所 明海工場	〃	輸送用機械器具製造	H 3. 6. 29
67	(株)東三河食肉流通センター	〃	畜産食料品製造	H 3. 9. 13
68	東海ジオテック(株)	〃	地 質 調 査	H 3. 10. 15
69	日本ジュースターミナル(株)	神 野 西 町	濃縮ジュース冷蔵保管	H 3. 11. 20
70	カリツー(株) 渥美営業所	明 海 町	運 送	H 3. 11. 22
71	(株)日立物流 豊橋営業所	〃	運 送	H 4. 1. 13
72	(株)ユーネットランス 豊橋営業所	〃	運 送	H 4. 1. 16
73	東洋製罐(株) 豊橋工場	〃	容 器 製 造	H 4. 4. 20
74	ミナト生コン(株)	〃	生コンクリート製造	H 4. 7. 21
75	(株)アイ・テック 豊橋支店	〃	鉄 鋼 製 品 加 工	H 4. 8. 19
76	東海大王製紙パッケージ(株)	〃	ダンボールシート、ケース製造	H 4. 10. 19
77	愛知陸運(株) 明海営業所	〃	自動車部材組立	H 4. 12. 14
78	ヒクマ(株) 明海工場	〃	不 織 布 製 造	H 5. 4. 21
79	ボルボ・カーズ・ジャパン(株) 豊橋VDC	神 野 西 町	自 動 車 販 売	H 5. 11. 10
80	(株)トーエネック 明海サービスセンター	明 海 町	電 気 工 事	H 6. 6. 17
81	(株)リバーウエスト	〃	金 属 製 品 製 造	H 6. 11. 15
82	(株)ゲット	〃	金 属 製 品 製 造	H 6. 11. 17
83	(株)上組 豊橋支店	〃	倉庫、港湾輸送	H 7. 2. 7
84	東洋製版(株) 豊橋工場	〃	製 版	H 7. 5. 18
85	トヨネン(株)	〃	合成繊維網製造	H 8. 11. 18
86	中部セキスイハイム工業(株) 第二工場	〃	住宅ユニット製造	H 9. 2. 4.
87	カリツー(株) 渥美第二営業所	〃	運 送	H 9. 7. 28
88	明海発電(株) 豊橋発電所	〃	発 電 事 業	H 10. 6. 26
89	(株)藤城運輸 明海事業所	〃	運 送	H 10. 10. 24

No.	工 事 ・ 事 業 場 名	所 在 地	事 業 内 容	締結年月日
90	和光純薬工業(株) 愛知工場	新 西 浜 町	化 学 工 業	H 15. 4. 8
91	明德産業(株) 豊橋工場	明 海 町	一般機械器具製造	H 15. 6. 9
92	ペトロランス(株) 明海第二油槽所	〃	油 槽 施 設	H 15. 10. 14
93	東京昭和運輸(株) 豊橋配送センター	〃	運 送	H 16. 8. 10
94	名古屋港木材倉庫(株) エコワールド	〃	木 材 チ ッ プ 製 造	H 17. 1. 7
95	イノアックコーポレーション(株) 豊橋工場	〃	自動車用ゴム製品製造	H 17. 1. 31
96	ニューアロイ(株)	新 西 浜 町	鉱物金属材料卸売	H 17. 3. 8
97	トヨタ車体精工(株) 豊橋工場	明 海 町	自動車部品製造	H 17. 6. 10
98	坂神工業(株)	〃	自動車部品製造	H 17. 8. 16
99	武蔵精密工業(株) 第二明海工場	〃	自動車部品製造	H 17. 11. 2
100	(株)ヤマグチマイカ 豊橋第二工場	〃	雲母その他粉体製造、加工	H 17. 11. 29
101	(株)KYOEI-ARACO	〃	自動車部品製造	H 17. 12. 26
102	POSCO-JEPC(株)	神 野 西 町	鋼 材 加 工	H 18. 2. 2
103	セキノ興産(株)	明 海 町	住宅用内装部材製造	H 18. 4. 3
104	(株)ウッドワン 東海製造部 豊橋工場 ジュピーノドア製造課	〃	住宅用内装部材製造	H 18. 4. 14
105	(株)不二工機 豊橋ロジスティクスセンター	〃	倉庫・自動車制御機器製造	H 18. 12. 14
106	川西塗装(株)明海西工場	〃	プラスチック塗装	H 20. 2. 26
107	川西塗装(株)第四工場	〃	プラスチック製品加工	H 20. 11. 12
108	(株)藤城運輸 豊橋配送センター明海事業所 第2 冷蔵倉庫	〃	運 輸 業	H 21. 6. 8
109	(株)コクサイ物流	〃	産業廃棄物処理業	H 22. 11. 5
110	渥美運輸(株) 本社	〃	運 送	H 23. 4. 5
111	豊塩運輸(株) 明海営業所	〃	運 送	H 23. 4. 5
112	ヒルタ工業(株) 豊橋工場	〃	自動車部品製造	H 23. 5. 20
113	(株)上組 豊橋新車整備センター	神 野 西 町	自動車部品製造	H 23. 6. 14
114	(株)上組 豊川支店 東西センター	〃	自動車部品製造	H 24. 5. 14
115	知多産業運輸(株)豊橋 CKL 危険物倉庫	明 海 町	倉 庫	H 25. 4. 1
116	知多産業運輸(株)本社	〃	運 送	H 25. 4. 1
117	ブジョー・シトロエン・ジャポン(株)豊橋 VPC	神 野 西 町	輸入車配送前準備事業	H 25. 6. 21
118	(株)中部 明海工場	明 海 町	産業廃棄物処理業	H 26. 2. 19
119	イノチオファーム豊橋	新 西 浜 町	野菜作農業	H 28. 8. 30
120	(株)睦運送 本社営業所	明 海 町	貨物運送事業	H 29. 3. 23



(3) 公害苦情発生源別・用途地域別件数

区 分	典 型 7 公 害							その他	合計	割合	
	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭				
平成 24 年度	68	32	1	63	9	1	28	23	225		
平成 25 年度	89	41	0	50	7	0	61	28	276		
平成 26 年度	71	40	1	59	4	0	46	36	257		
平成 27 年度	93	28	0	69	8	0	62	76	336		
平成 28 年度	78	35	2	83	3	1	46	59	307		
( 割 合 )	25.4%	11.4%	0.7%	27.0%	1.0%	0.3%	15.0%	19.2%	100.0%		
発 生 源 別 内 訳	農 業 ・ 林 業 等	6	8	1	4	0	0	10	3	32	10.4%
	建 設 業	11	0	0	19	1	0	0	13	44	14.3%
	製 造 業	10	5	0	11	0	0	11	2	39	12.7%
	電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0.3%
	運 輸 ・ 通 信 業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	卸売・小売業・飲食店	1	2	0	10	0	0	7	5	25	8.1%
	サ ー ビ ス 業	10	2	0	14	1	0	2	4	33	10.7%
	公 務	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.3%
	家 庭 生 活	21	1	0	14	0	0	6	1	43	14.0%
	事 務 所	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	道 路	0	0	0	3	1	0	0	0	4	1.3%
	空 地	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0.3%
	公 園	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
	神 社 ・ 寺 院 等	2	0	0	1	0	0	0	0	3	1.0%
そ の 他	4	5	1	3	0	0	0	6	19	6.2%	
不 明	12	12	0	3	0	1	9	25	62	20.2%	
用 途 地 域 別 内 訳	第一種低層住居専用地域	2	1	0	6	0	1	2	1	13	4.2%
	第二種低層住居専用地域	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.3%
	第一種中高層住居専用地域	6	2	0	9	1	0	2	3	23	7.5%
	第二種中高層住居専用地域	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0.7%
	第一種住居地域	9	2	0	10	0	0	3	3	27	8.8%
	第二種住居地域	0	0	0	4	1	0	0	1	6	2.0%
	準 住 居 地 域	2	0	0	0	0	0	1	1	4	1.3%
	近 隣 商 業 地 域	1	0	0	5	0	0	3	1	10	3.3%
	商 業 地 域	1	0	0	2	0	0	2	5	10	3.3%
	準 工 業 地 域	10	0	0	15	1	0	7	4	37	12.1%
	工 業 地 域	2	3	1	4	0	0	2	1	13	4.2%
	工 業 専 用 地 域	0	0	0	1	0	0	1	1	3	1.0%
	市街化調整区域	45	27	1	24	0	0	23	38	158	51.5%

#### (4) 合併処理浄化槽設置整備事業の概要

##### ア. 人槽別設置基数

人槽 年度	5	6	7	8	10	11~20	21~30	31~50	計
H18	257 (54)	0 (0)	206 (43)	0 (0)	11 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	475
H19	221 (53)	0 (0)	178 (43)	0 (0)	17 (4)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	416
H20	235 (53)	0 (0)	193 (43)	0 (0)	16 (4)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	445
H21	200 (52)	0 (0)	160 (42)	0 (0)	20 (5)	2 (1)	2 (1)	0 (0)	384
H22	228 (54)	0 (0)	181 (43)	0 (0)	14 (3)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	425
H23	18 (32)	0 (0)	32 (57)	0 (0)	6 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	56
H24	14 (38)	0 (0)	21 (57)	0 (0)	1 (3)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	37
H25	9 (31)	0 (0)	14 (48)	0 (0)	6 (21)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	29
H26	21 (53)	0 (0)	17 (43)	0 (0)	2 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	40
H27	13 (33)	0 (0)	22 (55)	0 (0)	4 (10)	0 (0)	0 (0)	1 (3)	40
H28	10 (36)	0 (0)	16 (57)	0 (0)	2 (7)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	28

※( )内は構成比率を示す。少数第1位を四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

##### イ. 流域別設置基数

河川 年度	梅田川	豊川		柳生川	紙田川	その他 の河川	計	
		神田川	豊川放水路					
H18	290 (61)	73 (15)	22	8	38 (8)	0 (0)	74 (16)	475
H19	224 (54)	86 (21)	14	9	24 (6)	0 (0)	82 (20)	416
H20	195 (44)	73 (16)	10	5	86 (19)	0 (0)	91 (21)	445
H21	139 (36)	55 (14)	3	6	110 (29)	0 (0)	80 (21)	384
H22	174 (41)	81 (19)	10	4	64 (15)	0 (0)	106 (25)	425
H23	22 (39)	7 (13)	0	0	8 (14)	0 (0)	19 (34)	56
H24	10 (27)	6 (16)	0	1	11 (30)	0 (0)	10 (27)	37
H25	7 (24)	3 (10)	0	0	3 (10)	0 (0)	16 (55)	29
H26	16 (40)	3 (8)	0	0	13 (33)	0 (0)	8 (20)	40
H27	25 (63)	7 (18)	0	0	1 (3)	0 (0)	7 (18)	40
H28	19 (68)	1 (4)	0	0	3 (11)	0 (0)	5 (18)	28

※( )内は構成比率を示す。少数第1位を四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

ウ. 建築物の用途別設置基数

用途 年度	専用住宅	併用住宅	その他	計
H18	473 (99)	0 (0)	2 (0)	475
H19	408 (98)	7 (2)	1 (0)	416
H20	430 (97)	15 (3)	0 (0)	445
H21	372 (97)	9 (2)	3 (1)	384
H22	417 (98)	5 (1)	3 (1)	425
H23	53 (95)	3 (5)	0 (0)	56
H24	35 (95)	1 (3)	1 (3)	37
H25	25 (86)	4 (14)	0 (0)	29
H26	40 (100)	0 (0)	0 (0)	40
H27	37 (93)	1 (3)	2 (5)	40
H28	28 (100)	0 (0)	0 (0)	28

※( )内は構成比率を示す。少数第1位を四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

エ. 区域別設置基数

区域 年度	市街化区域	市街化調整区域	計
H18	117 (25)	358 (75)	475
H19	124 (30)	292 (70)	416
H20	197 (44)	248 (56)	445
H21	131 (34)	253 (66)	384
H22	169 (40)	256 (60)	425
H23	10 (18)	46 (82)	56
H24	11 (30)	26 (70)	37
H25	6 (21)	23 (79)	29
H26	12 (30)	28 (70)	40
H27	1 (3)	39 (98)	40
H28	2 (7)	26 (93)	28

※( )内は構成比率を示す。少数第1位を四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

オ. 新築・改造別設置基数

区分 年度	新築(建築確認申請によるもの)	改造(浄化槽設置届出によるもの)	計
H18	423 (89)	52 (11)	475
H19	373 (90)	43 (10)	416
H20	394 (89)	51 (11)	445
H21	327 (85)	57 (15)	384
H22	377 (89)	48 (11)	425
H23	-	56 -	56
H24	-	37 -	37
H25	-	29 -	29
H26	-	40 -	40
H27	-	40 -	40
H28	-	28 -	28

※平成23年度から新築については補助対象外。

※( )内は構成比率を示す。少数第1位を四捨五入のため、合計が100にならない場合がある。

## 2. 大 気

### (1)大気汚染に係る環境基準

物 質 名	環 境 基 準	評 価 方 法
二酸化硫黄 (SO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること。 (昭和48年5月16日環境庁告示)	1日平均値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が、0.04ppm以下に維持されること。ただし、1日平均値が0.04ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。
二酸化窒素 (NO <sub>2</sub> )	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること。 (昭和53年7月11日環境庁告示)	年間にわたる1日平均値のうち、低い方から98%に相当する値が、0.06ppm以下に維持されること。
一酸化炭素 (CO)	1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること。 (昭和48年5月8日環境庁告示)	1日平均値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が、10ppm以下に維持されること。ただし、1日平均値が10ppmを超えた日が2日以上連続しないこと。
浮遊粒子状物質 (SPM)	1時間値の1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m <sup>3</sup> 以下であること。 (昭和48年5月8日環境庁告示)	1日平均値の高い方から2%の範囲内にあるものを除外した値が、0.10mg/m <sup>3</sup> 以下に維持されること。ただし、1日平均値が0.10mg/m <sup>3</sup> を超えた日が2日以上連続しないこと。
光化学オキシダント (Ox)	1時間値が0.06ppm以下であること。 (昭和48年5月8日環境庁告示)	年間を通じて、1時間値が0.06ppm以下に維持されること。ただし、5時から20時の昼間時間帯について評価する。
微小粒子状物質 (PM <sub>2.5</sub> )	1年平均値が15μg/m <sup>3</sup> 以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m <sup>3</sup> 以下であること。(平成21年9月9日環境省告示)	1年平均値及び1日平均値のうち98パーセント値で評価する。
ベンゼン	1年平均値が0.003mg/m <sup>3</sup> (3μg/m <sup>3</sup> )以下であること。 (平成9年2月4日環境庁告示)	1年平均値と認められる値との比較によって評価を行う。
トリクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m <sup>3</sup> (200μg/m <sup>3</sup> )以下であること。 (平成9年2月4日環境庁告示)	1年平均値と認められる値との比較によって評価を行う。
テトラクロロエチレン	1年平均値が0.2mg/m <sup>3</sup> (200μg/m <sup>3</sup> )以下であること。 (平成9年2月4日環境庁告示)	1年平均値と認められる値との比較によって評価を行う。
ジクロロメタン	1年平均値が0.15mg/m <sup>3</sup> (150μg/m <sup>3</sup> )以下であること。 (平成13年4月20日環境省告示)	1年平均値と認められる値との比較によって評価を行う。

○指針値(環境中の有害大気汚染物質による健康リスクの低減を図るための指針となる数値)

物質	指針値	
アクリロニトリル	年平均値が $2\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	15年9月30日付 環管総発第030930004号通知
塩化ビニルモノマー	年平均値が $10\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	〃
水銀及びその化合物	年平均値が $0.04\mu\text{g}/\text{m}^3$ ( $40\text{ng}/\text{m}^3$ )以下	〃
ニッケル化合物	年平均値が $0.025\mu\text{g}/\text{m}^3$ ( $25\text{ng}/\text{m}^3$ )以下	〃
クロロホルム	年平均値が $18\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	18年12月20日付 環水大総発第061220001号通知
1,2-ジクロロエタン	年平均値が $1.6\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	〃
1,3-ブタジエン	年平均値が $2.5\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	〃
ヒ素及びその化合物	年平均値が $6\text{ng}/\text{m}^3$ 以下	22年10月15日付 環水大総発第101015002号、環水大総発第101015004号通知
マンガン及びその化合物	年平均値が $0.14\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下	26年5月1日付 環水大総発第1405011号通知

(2)緊急時の発令要件である大気汚染の状態

(大気汚染防止施行令第11条)

物質名	一般緊急時		重大緊急時	
硫黄酸化物	0.2 ppm	3時間	0.5 ppm	3時間
	0.3 "	2 "		
	0.5 "	1 "		
	0.15 "	48 " (平均値)		
浮遊粒子状物質	$2.0\text{mg}/\text{m}^3$	2時間	$3.0\text{mg}/\text{m}^3$	3時間
一酸化炭素	30 ppm	1 "	50 ppm	1 "
二酸化窒素	0.5 "	1 "	1 "	1 "
オキシダント	0.12 "	1 "	0.4 "	1 "

(注) 各々1時間値の継続時間を表わす。

(3)微粒子状物質(PM2.5) 注意喚起のための暫定的な指針

レベル	暫定的な指針となる値 日平均値( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	行動のめやす	注意喚起の判断に用いる値 ※3	
			午前中の早めの 時間帯での判断 5時～7時 1時間値( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )	午後からの活動 に備えた判断 5時～12時 1時間値( $\mu\text{g}/\text{m}^3$ )
II	70超	不要不急の外出や屋外での長時間の激しい運動をできるだけ減らす。(高感受性者※2においては、体調に応じて、より慎重に行動することが望まれる。)	85超	80超
I (環境基準)	70以下 35以下 ※1	特に行動を制約する必要はないが、高感受性者は、健康への影響がみられることがあるため、体調の変化に注意する。	85以下	80以下

※1 環境基準は環境基本法第16条第1項に基づく人の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準

PM2.5に係る環境基準の短期基準は日平均値 $35\mu\text{g}/\text{m}^3$ であり、日平均値の年間98パーセントイル値で評価

※2 高感受性者は、呼吸器系や循環器系疾患のある者、小児、高齢者等

※3 暫定的な指針となる値である日平均値を超えるか否かについて判断するための値

(3) ばい煙発生施設等の届出状況

ア. 大気汚染防止法

区分	届出の種類 項番号	施設名	28年度中の届出施設数					28年度末 届出 施設数	電気事業 法の累計	
			設置届	使用届	廃止届	変 更				
						構造	使用方法等			処理方法
ば い 煙	1	ボイラー	8		19	1			429	1
	5	溶解炉							18	
	6	金属加熱炉							28	
	10	反応炉							2	
	11	乾燥炉			1				14	
	12	電気炉							2	
	13	廃棄物焼却炉	2						13	
	29	ガスタービン							0	22
	30	ディーゼル機関							20	102
	31	ガス機関							0	12
		合 計	10	0	20	1	0	0	526	137
		工場・事業場数	236							
一 般 粉 じ ん	2	堆積場			4				48	
	3	コンベア							122	
	4	破砕機・摩砕機							49	
	5	ふるい							31	
		合 計	0	0	4	0	0	0	250	
		工場・事業場数	39							

イ. 県民の生活環境の保全等に関する条例

区分	届出の種類 項番号	施設名	28年度中の届出施設数					28年度末 届出 施設数	
			設置届	使用届	廃止届	変更			
						構造	使用方法等		処理方法
ば           煙	1	ボイラー	32		16				485
	5	溶解炉							5
	7	石油加熱炉							2
	11	直下炉							1
	12	乾燥炉	2						7
	14	廃棄物焼却炉							1
	35	ハ. 接着テープ 等製造用施設	1		1				272
	35	ト. 化学工業品 等の製造用施設							37
	37	塗装用乾燥施設							1
	38	フェノール・メラミン・尿 素系樹脂製造用施設							3
	49	アクリロニトリル使用 合成樹脂の製造施設							3
		合計	35	0	17	0	0	0	817
	工場・事業場数	350							
	うち大気指定工場等数	18							
粉        じ   ん	2	堆積場			2				15
	3	コンベア	6		2				299
	4	破碎機・粉碎機・ 摩砕機・研磨機	5		4				290
	5	ふるい							41
	6	打綿機・混打綿機	1						2
	7	チップパー・破木機			2				18
	8	吹付け塗装機							21
		合計	12	0	10	0	0	0	686
		工場・事業場数	119						
炭化水素系物質発生施設		75							

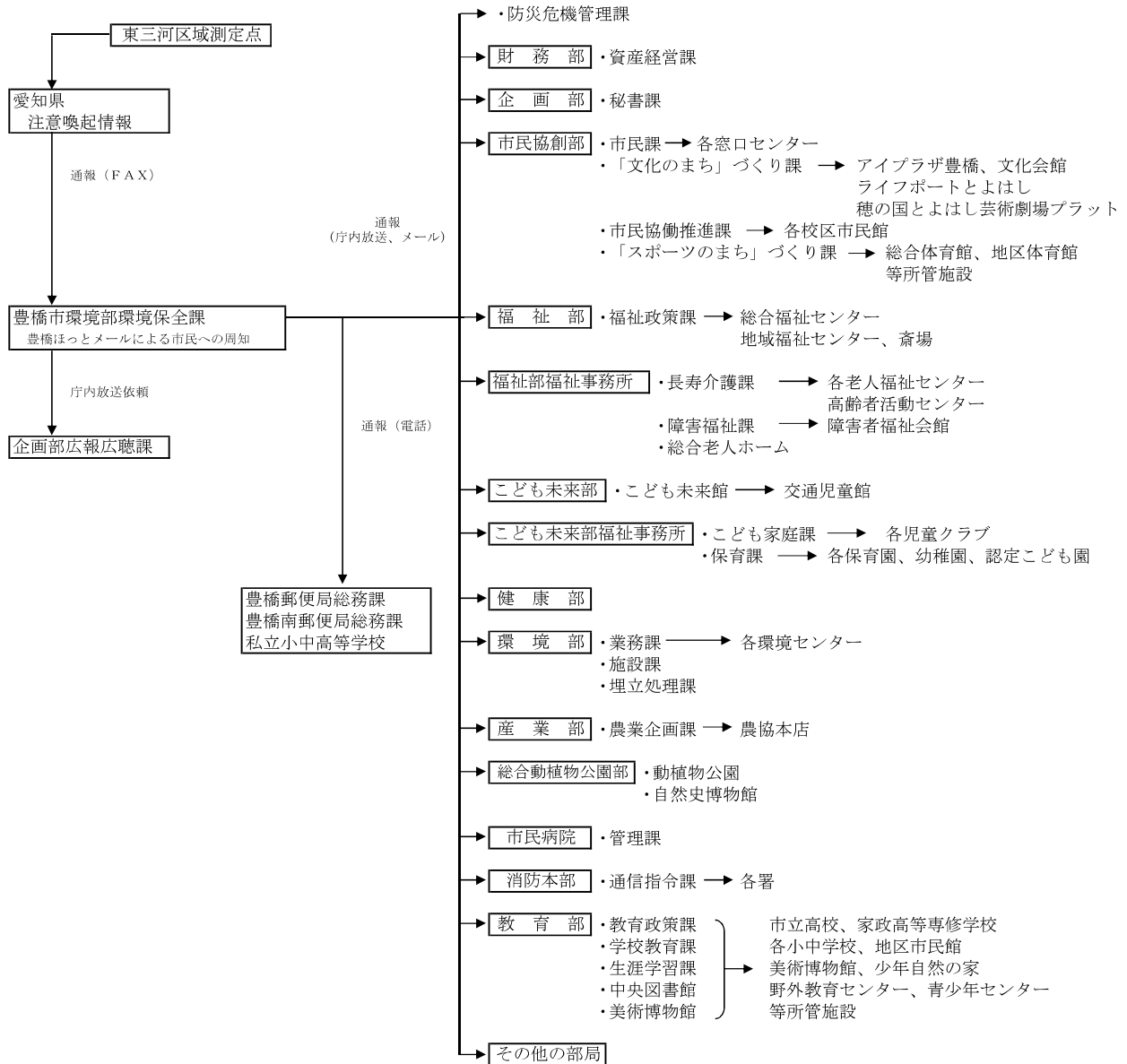


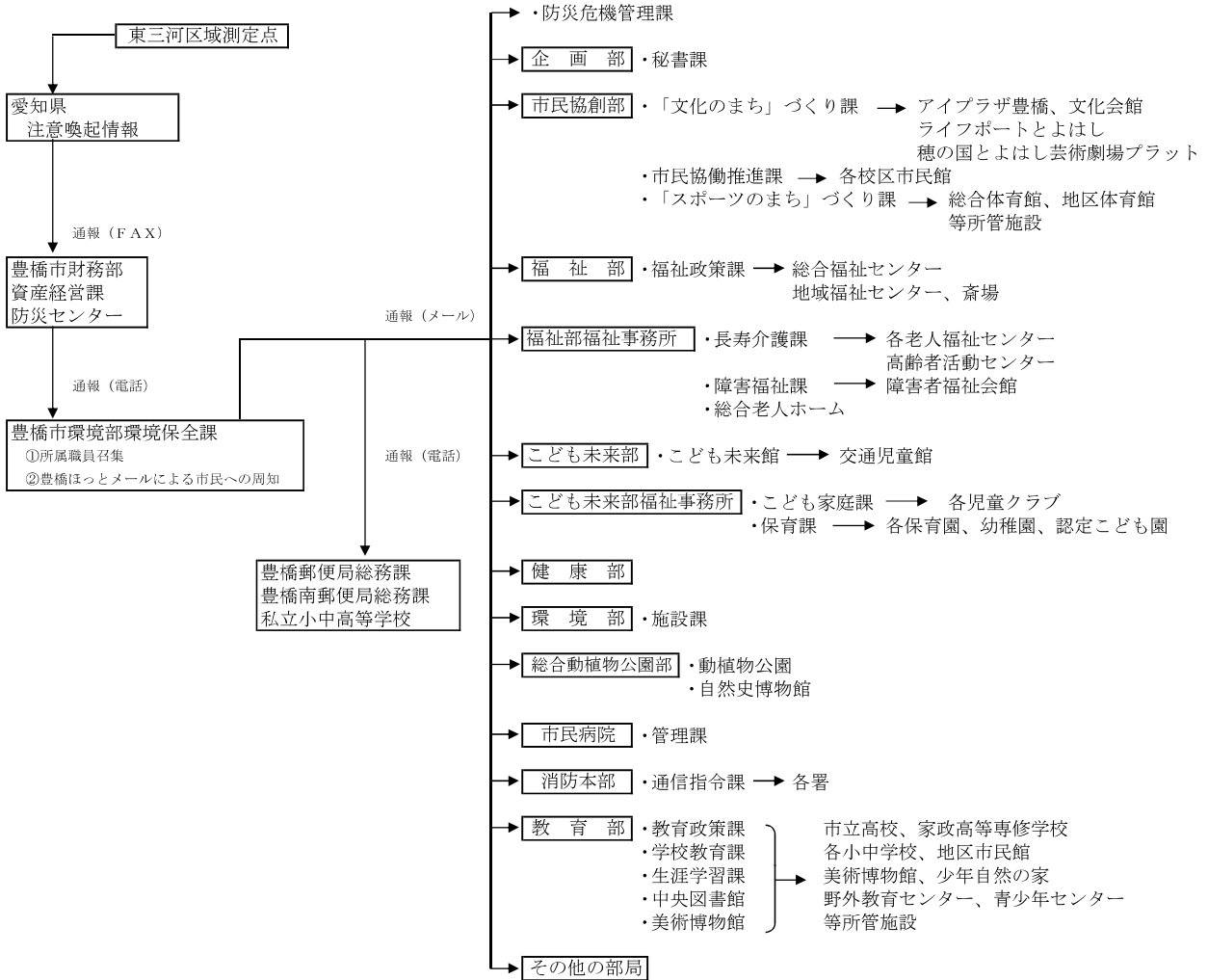




(5) 微小粒子状物質 (PM2.5) に係る注意喚起通報体制  
 ア. 豊橋市微小粒子状物質 (PM2.5) 通報系統図 (勤務時間内の場合)

(H29. 4. 1現在)





### 3. 水質

#### (1) 公共用水域の水質汚濁に係る環境基準

##### ア. 人の健康の保護に関する環境基準

項 目	基 準 値
カドミウム	0.003 mg/L以下
全シアン	検出されないこと。
鉛	0.01 mg/L以下
六価クロム	0.05 mg/L以下
砒素	0.01 mg/L以下
総水銀	0.0005 mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。
PCB	検出されないこと。
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下
四塩化炭素	0.002 mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下
トリクロロエチレン	0.01 mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下
チウラム	0.006 mg/L以下
シマジン	0.003 mg/L以下
チオベンカルブ	0.02 mg/L以下
ベンゼン	0.01 mg/L以下
セレン	0.01 mg/L以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L以下
ふっ素	0.8 mg/L以下
ほう素	1 mg/L以下
1,4-ジオキサン	0.05 mg/L以下

- 備考 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。
- 2 「検出されないこと」とは、環境大臣により定められた方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。
- 3 海域については、ふっ素及びほう素の基準値は適用しない。
- 4 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、日本工業規格K0102の43.2.1、43.2.3、43.2.5又は43.2.6により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと日本工業規格K0102の43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。

イ. 生活環境の保全に関する環境基準

① 河川(湖沼を除く。)

項目	類型	AA	A	B	C	D	E
	利用目的の適応性	水道1級 自然環境保全及びA以下の欄に掲げるもの	水道2級 水産1級 水浴及びB以下の欄に掲げるもの	水道3級 水産2級 及びC以下の欄に掲げるもの	水産3級 工業用水1級及びD以下の欄に掲げるもの	工業用水2級・農業用水及びEの欄に掲げるもの	工業用水3級 環境保全
水素イオン濃度 (pH)		6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.0以上 8.5以下	6.0以上 8.5以下
生物化学的酸素要求量 (BOD)		1mg/L 以下	2mg/L 以下	3mg/L 以下	5mg/L 以下	8mg/L 以下	10mg/L 以下
浮遊物質 (SS)		25mg/L 以下	25mg/L 以下	25mg/L 以下	50mg/L 以下	100mg/L 以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。
溶存酸素量 (DO)		7.5mg/L 以上	7.5mg/L 以上	5mg/L 以上	5mg/L 以上	2mg/L 以上	2mg/L 以上
大腸菌群数		50MPN /100mL 以下	1,000MPN /100mL 以下	5,000MPN /100mL 以下	—	—	—

備考 1 基準値は、日間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)

2 農業用利水点については、水素イオン濃度6.0以上7.5以下、溶存酸素量5mg/L以上とする(湖沼もこれに準ずる。)

(注) 1 自然環境保全:自然探勝等の環境保全

2 水道1級:ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級:沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級:前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

3 水産1級:ヤマメ、イワナ等貧腐水性水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級:サケ科魚類及びアユ等貧腐水性水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級:コイ、フナ等、β-中腐水性水域の水産生物用

4 工業用水1級:沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級:薬品注入等による高度の浄水操作を行うもの

工業用水3級:特殊の浄水操作を行うもの

5 環境保全:国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値		
		全亜鉛	ノニルフェノール	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩(LAS)
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下	0.001mg/L以下	0.03 mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L以下	0.0006 mg/L以下	0.02 mg/L以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03 mg/L以下	0.002 mg/L以下	0.05 mg/L以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚子の生育場として特に保全が必要な水域	0.03 mg/L以下	0.002 mg/L以下	0.04 mg/L以下

備考 1 基準値は、年間平均値とする(湖沼、海域もこれに準ずる。)

② 湖沼(天然湖沼及び貯水量が1,000万立方メートル以上であり、かつ、水の滞留時間が4日間以上である人工湖)

項目 類型	AA	A	B	C
利用目的の 適応性	水道1級 水産1級 自然環境保全 及びA以下の欄に 掲げるもの	水道2、3級 水産2級 水浴及びB以下の 欄に掲げるもの	水産3級 工業用水1級 農業用水 及びCの欄に掲げ るもの	工業用水2級 環境保全
水素イオン濃度(pH)	6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.5以上 8.5以下	6.0以上 8.5以下
化学的酸素要求量(COD)	1mg/L以下	3mg/L以下	5mg/L以下	8mg/L以下
浮遊物質濃度(SS)	1mg/L以下	5mg/L以下	15mg/L以下	ごみ等の浮遊が認められないこと。
溶存酸素量(DO)	7.5mg/L以上	7.5mg/L以上	5mg/L以上	2mg/L以上
大腸菌群数	50MPN /100mL以下	1,000MPN /100mL以下	—	—

備考 水産1級、水産2級及び水産3級については、当分の間、浮遊物質濃度の項目の基準値は適用しない。

(注) 1 自然環境保全: 自然探勝等の環境の保全

2 水道1級: ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2、3級: 沈殿ろ過等による通常の浄水操作、又は、前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの

3 水産1級: ヒメマス等貧栄養湖型の水域の水産生物用並びに水産2級及び水産3級の水産生物用

水産2級: サケ科魚類及びアユ等貧栄養湖型の水域の水産生物用及び水産3級の水産生物用

水産3級: コイ、フナ等富栄養湖型の水域の水産生物用

4 工業用水1級: 沈殿等による通常の浄水操作を行うもの

工業用水2級: 薬品注入等による高度の浄水操作、又は、特殊な浄水操作を行うもの

5 環境保全: 国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全磷
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの	0.1mg/L以下	0.005mg/L以下
II	水道1、2、3級(特殊なものを除く。)水産1種、水浴及びIII以下の欄に掲げるもの	0.2mg/L以下	0.01mg/L以下
III	水道3級(特殊なもの)及びIV以下の欄に掲げるもの	0.4mg/L以下	0.03mg/L以下
IV	水産2種及びVの欄に掲げるもの	0.6mg/L以下	0.05mg/L以下
V	水産3種、工業用水、農業用水、環境保全	1mg/L以下	0.1mg/L以下

備考 1 基準値は、年間平均値とする。

2 農業用水については、全磷の項目の基準値は適用しない。

(注) 1 自然環境保全:自然探勝等の環境保全

2 水道1級:ろ過等による簡易な浄水操作を行うもの

水道2級:沈殿ろ過等による通常の浄水操作を行うもの

水道3級:前処理等を伴う高度の浄水操作を行うもの(「特殊なもの」とは、臭気物質の除去が可能な特殊な浄水操作を行うものをいう。)

3 水産1種:サケ科魚類及びアユ等の水産生物用並びに水産2種及び水産3種の水産生物用

水産2種:ワカサギ等の水産生物用及び水産3種の水産生物用

水産3種:コイ、フナ等の水産生物用

4 環境保全:国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全亜鉛
生物A	イワナ、サケマス等比較的低温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、生物Aの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下
生物B	コイ、フナ等比較的高温域を好む水生生物及びこれらの餌生物が生息する水域	0.03mg/L以下
生物特B	生物A又は生物Bの水域のうち、生物Bの欄に掲げる水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.03mg/L以下

③ 海域

項目	類型	A	B	C
	利用目的の 適応性	水産1級、水浴、自然環境保全及びB以下の欄に掲げるもの	水産2級、工業用水及びCの欄に掲げるもの	環境保全
水素イオン濃度(pH)		7.8以上 8.3以下	7.8以上 8.3以下	7.0以上 8.3以下
化学的酸素要求量(COD)		2mg/L以下	3mg/L以下	8mg/L以下
溶存酸素量(DO)		7.5mg/L以上	5mg/L以上	2mg/L以上
大腸菌群数		1,000MPN /100mL以下	—	—
n-ヘキサン抽出物質(油分等)		検出されないこと。	検出されないこと。	—

備考 1 水産1級のうち、生食用原料カキの養殖の利水点については、大腸菌群数70MPN/100mL以下とする。

(注) 1 自然環境保全:自然探勝等の環境保全

2 水産1級:マダイ、ブリ、ワカメ等の水産生物用及び水産2級の水産生物用

水産2級:ボラ、ノリ等の水産生物用

3 環境保全:国民の日常生活(沿岸の遊歩等を含む。)において不快感を生じない限度

項目 類型	利用目的の適応性	基準値	
		全窒素	全磷
I	自然環境保全及びII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.2mg/L以下	0.02mg/L以下
II	水産1種 水浴及びIII以下の欄に掲げるもの (水産2種及び3種を除く。)	0.3mg/L以下	0.03mg/L以下
III	水産2種及びIVの欄に掲げるもの (水産3種を除く。)	0.6mg/L以下	0.05mg/L以下
IV	水産3種、工業用水、生物生息環境保全	1mg/L以下	0.09mg/L以下

備考 1 基準値は、年間平均値とする。

(注) 1 自然環境保全:自然探勝等の環境保全

2 水産1種:底生魚介類を含め多様な水産生物がバランス良く、かつ、安定して漁獲される

水産2種:一部の底生魚介類を除き、魚類を中心とした水産生物が多獲される

水産3種:汚濁に強い特定の水産生物が主に魚獲される

3 生物生息環境保全:年間を通して底生生物が生息できる限度

項目 類型	水生生物の生息状況の適応性	基準値
		全亜鉛
生物A	水生生物の生息する水域	0.02mg/L以下
生物特A	生物Aの水域のうち、水生生物の産卵場(繁殖場)又は幼稚仔の生育場として特に保全が必要な水域	0.01mg/L以下



ウ. 東三河地方の公共用水域に係る環境基準の水域類型指定

① 水質汚濁に係る環境基準の水域類型指定

水 域	該当類型	達成期間	水域区分
豊川上流 (宇連川合流点より上流)	AA	イ	豊川等 水 域
宇連川 (全 域)	AA	イ	
豊川中流 (宇連川合流点から豊橋市下条上水道取水地点まで)	A	イ	
豊川下流 (下条上水道取水地点より下流)	B	イ	
豊川放水路 (全 域)	C	イ	
梅田川 (静岡県に属する水域を除く。)	C	イ	
音羽川 (全 域)	C	イ	
佐奈川 (全 域)	D	イ	
汐 川 (全 域)	E	ハ	
蒲郡地先海域	C	ロ	渥美湾 水 域
神野・田原地先海域	C	ロ	
渥美湾 (甲)	B	イ	
渥美湾 (乙)	A	イ	

備考 達成期間の分類は、次のとおりである。

- 1 「イ」は、直ちに達成
- 2 「ロ」は、5年以内で可及的速やかに達成
- 3 「ハ」は、5年を超える期間で可及的速やかに達成

②全窒素及び全磷に係る環境基準の水域類型指定

水 域	該当類型	達 成 期 間
三 河 湾 (ロ)	Ⅲ	直ちに達成
三 河 湾 (ハ)	Ⅱ	5年以内で可及的速やかに達成

③ 水生生物の保全に係る水質環境基準の水域類型指定

水 域	該当類型	達成期間	水域区分
豊川上流 (布里堰堤より上流)	生物A	イ	豊川等 水 域
宇連川上流 (養乙女橋より上流)	生物A	イ	
豊川下流 (布里堰堤より下流)	生物B	イ	
宇連川下流 (養乙女橋より下流)	生物B	イ	
豊川放水路 (全 域)	生物B	イ	
梅田川 (静岡県に属する水域を除く。)	生物B	イ	
音羽川 (全 域)	生物B	イ	
佐奈川 (全 域)	生物B	ロ	
汐 川 (全 域)	生物B	イ	

備考 達成期間の分類は、次のとおりである。

- 1 「イ」は、直ちに達成
- 2 「ロ」は、5年以内で可及的速やかに達成
- 3 「ハ」は、5年を超える期間で可及的速やかに達成

エ. 要監視項目及び指針値

項 目	指 針 値
クロロホルム	0.06 mg/L以下
トランス-1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下
1,2-ジクロロプロパン	0.06 mg/L以下
p-ジクロロベンゼン	0.2 mg/L以下
イソキサチオン	0.008 mg/L以下
ダイアジノン	0.005 mg/L以下
フェニトロチオン(MEP)	0.003 mg/L以下
イソプロチオラン	0.04 mg/L以下
オキシ銅(有機銅)	0.04 mg/L以下
クロロタロニル(TPN)	0.05 mg/L以下
プロピザミド	0.008 mg/L以下
EPN	0.006 mg/L以下
ジクロルボス(DDVP)	0.008 mg/L以下
フェノブカルブ(BPMC)	0.03 mg/L以下
イプロベンホス(IBP)	0.008 mg/L以下
クロルニトロフェン(CNP)	—
トルエン	0.6 mg/L以下
キシレン	0.4 mg/L以下
フタル酸ジエチルヘキシル	0.06 mg/L以下
ニッケル	—
モリブデン	0.07 mg/L以下
アンチモン	0.02 mg/L以下
塩化ビニルモノマー	0.002 mg/L以下
エピクロロヒドリン	0.0004 mg/L以下
全マンガン	0.2 mg/L以下
ウラン	0.002 mg/L以下

(2)地下水の水質汚濁に係る環境基準

項 目	基 準 値
カドミウム	0.003 mg/L以下
全シアン	検出されないこと。
鉛	0.01 mg/L以下
六価クロム	0.05 mg/L以下
砒素	0.01 mg/L以下
総水銀	0.0005 mg/L以下
アルキル水銀	検出されないこと。
PCB	検出されないこと。
ジクロロメタン	0.02 mg/L以下
四塩化炭素	0.002 mg/L以下
塩化ビニルモノマー	0.002 mg/L以下
1,2-ジクロロエタン	0.004 mg/L以下
1,1-ジクロロエチレン	0.1 mg/L以下
1,2-ジクロロエチレン	0.04 mg/L以下
1,1,1-トリクロロエタン	1 mg/L以下
1,1,2-トリクロロエタン	0.006 mg/L以下
トリクロロエチレン	0.01 mg/L以下
テトラクロロエチレン	0.01 mg/L以下
1,3-ジクロロプロペン	0.002 mg/L以下
チウラム	0.006 mg/L以下
シマジン	0.003 mg/L以下
チオベンカルブ	0.02 mg/L以下
ベンゼン	0.01 mg/L以下
セレン	0.01 mg/L以下
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	10 mg/L以下
ふっ素	0.8 mg/L以下
ほう素	1 mg/L以下
1, 4-ジオキサン	0.05 mg/L以下

備考 1 基準値は年間平均値とする。ただし、全シアンに係る基準値については、最高値とする。

2 「検出されないこと」とは、環境大臣により定められた方法により測定した場合において、その結果が当該方法の定量限界を下回ることをいう。

3 硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の濃度は、日本工業規格K0102の43.2.1、43.2.3、又は43.2.6により測定された硝酸イオンの濃度に換算係数0.2259を乗じたものと日本工業規格K0102の43.1により測定された亜硝酸イオンの濃度に換算係数0.3045を乗じたものの和とする。

4 1, 2-ジクロロエチレンの濃度は、日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.2により測定されたシス体の濃度と日本工業規格K0125の5.1、5.2又は5.3.1により測定されたトランス体の濃度の和とする。

要監視項目及び指針値

項 目	指 針 値
クロロホルム	0.06 mg/L以下
1,2-ジクロロプロパン	0.06 mg/L以下
p-ジクロロベンゼン	0.2 mg/L以下
イソキサチオン	0.008 mg/L以下
ダイアジノン	0.005 mg/L以下
フェニトロチオン(MEP)	0.003 mg/L以下
イソプロチオラン	0.04 mg/L以下
オキシ銅(有機銅)	0.04 mg/L以下
クロロタロニル(TPN)	0.05 mg/L以下
プロピザミド	0.008 mg/L以下
EPN	0.006 mg/L以下
ジクロルボス(DDVP)	0.008 mg/L以下
フェノブカルブ(BPMC)	0.03 mg/L以下
イプロベンホス(IBP)	0.008 mg/L以下
クロルニトロフェン(CNP)	—
トルエン	0.6 mg/L以下
キシレン	0.4 mg/L以下
フタル酸ジエチルヘキシル	0.06 mg/L以下
ニッケル	—
モリブデン	0.07 mg/L以下
アンチモン	0.02 mg/L以下
エピクロロヒドリン	0.0004 mg/L以下
全マンガン	0.2 mg/L以下
ウラン	0.002 mg/L以下

## (3) 土壌の汚染に係る環境基準

(平成3年8月23日 環境庁告示第46号)

項 目	環 境 上 の 条 件
カドミウム	検液1Lにつき0.01mg以下であり、かつ、農用地においては、米1kgにつき0.4mg以下であること。
全シアン	検液中に検出されないこと。
有機燐	検液中に検出されないこと。
鉛	検液1Lにつき0.01mg以下であること。
六価クロム	検液1Lにつき0.05mg以下であること。
砒素	検液1Lにつき0.01mg以下であり、かつ、農地用(田に限る。)においては、土壌1kgにつき15mg未満であること。
総水銀	検液1Lにつき0.0005mg以下であること。
アルキル水銀	検液中に検出されないこと。
PCB	検液中に検出されないこと。
銅	農地用(田に限る。)において、土壌1kgにつき125mg未満であること。
ジクロロメタン	検液1Lにつき0.02mg以下であること。
四塩化炭素	検液1Lにつき0.002mg以下であること。
1,2-ジクロロエタン	検液1Lにつき0.004mg以下であること。
1,1-ジクロロエチレン	検液1Lにつき0.02mg以下であること。
シス-1,2-ジクロロエチレン	検液1Lにつき0.04mg以下であること。
1,1,1-トリクロロエタン	検液1Lにつき1mg以下であること。
1,1,2-トリクロロエタン	検液1Lにつき0.006mg以下であること。
トリクロロエチレン	検液1Lにつき0.03mg以下であること。
テトラクロロエチレン	検液1Lにつき0.01mg以下であること。
1,3-ジクロロプロペン	検液1Lにつき0.002mg以下であること。
チウラム	検液1Lにつき0.006mg以下であること。
シマジン	検液1Lにつき0.003mg以下であること。
チオベンカルブ	検液1Lにつき0.02mg以下であること。
ベンゼン	検液1Lにつき0.01mg以下であること。
セレン	検液1Lにつき0.01mg以下であること。
ふっ素	検液1Lにつき0.8mg以下であること。
ほう素	検液1Lにつき1mg以下であること。

(注) 汚染がもつばら自然的原因によることが明らかであると認められる場所及び原材料の堆積場、廃棄物の埋立地その他当該物質の利用又は処分を目的として現にこれらを集積している施設に係る土壌については、適用しない。

## (4)河川の水質平均値の経年変化(平成19年～平成28年度)

(単位)流量:m<sup>3</sup>/sec、BOD、COD、全窒素、全磷:mg/L

調査地点名	項目	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
豊川 三上橋	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	1.1	1.7	1.5	0.8	1.0	0.9	0.8	1.3	0.7	0.8
	COD	2.2	2.2	1.1	1.8	2.0	2.6	2.1	2.4	2.6	2.4
	全窒素 全磷	1.3 0.029	1.3 0.031	1.4 0.021	1.5 0.024	1.2 0.023	1.1 0.023	1.1 0.028	0.9 0.026	1.1 0.029	1.0 0.024
豊川 渡津橋	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	1.2	1.3	1.0	0.9	1.1	1.2	0.9	0.9	0.7	1.8
	COD	2.9	3.0	2.7	2.8	2.5	3.0	2.8	3.3	3.3	3.5
	全窒素 全磷	1.4 0.063	1.0 0.058	1.5 0.045	1.1 0.055	0.78 0.046	0.91 0.055	1.0 0.060	0.92 0.051	1.1 0.061	0.91 0.053
豊川放水路 前芝大橋	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	1.2	1.5	1.5	1.4	1.5	1.9	2.5	1.6	0.9	1.9
	COD	3.4	3.3	3.9	3.2	3.7	5.0	4.6	4.4	3.9	4.1
	全窒素 全磷	1.5 0.098	1.0 0.086	1.5 0.092	1.2 0.081	0.88 0.083	0.87 0.092	1.0 0.11	1.0 0.094	1.3 0.080	0.90 0.084
間川 六盃橋	流量	0.401	0.532	0.540	0.474	0.533	0.479	0.327	0.564	0.531	0.564
	BOD	1.2	1.2	1.3	0.9	0.9	1.2	0.8	0.8	0.7	1.3
	COD	3.3	2.8	2.2	2.8	2.9	3.5	2.8	3.3	3.4	3.9
	全窒素 全磷	3.3 0.13	3.8 0.094	3.2 0.074	3.1 0.058	2.4 0.053	2.4 0.053	2.3 0.052	2.4 0.059	2.6 0.065	2.4 0.067
神田川 神田川橋	流量	0.508	0.685	0.746	0.557	0.766	0.488	0.470	0.786	0.642	0.749
	BOD	2.0	2.0	1.6	1.3	1.2	0.9	0.8	0.7	0.7	1.1
	COD	3.3	3.0	2.2	2.9	2.9	3.0	2.5	2.6	2.9	2.8
	全窒素 全磷	2.8 0.19	3.3 0.17	2.7 0.14	2.9 0.15	2.7 0.16	2.2 0.11	2.0 0.11	1.7 0.084	1.8 0.11	1.6 0.093
朝倉川 境橋	流量	0.271	0.363	0.310	0.251	0.345	0.309	0.299	0.381	0.415	0.407
	BOD	1.1	1.3	1.2	0.8	1.0	1.2	1.0	0.6	0.8	0.8
	COD	2.5	2.4	2.0	2.4	2.5	3.0	2.7	2.6	2.7	3.0
	全窒素 全磷	3.0 0.28	2.4 0.15	2.0 0.13	2.6 0.10	2.7 0.13	2.2 0.11	2.3 0.17	1.9 0.17	2.1 0.24	2.4 0.20

(単位) 流量:m<sup>3</sup>/sec、BOD、COD、全窒素、全磷:mg/L

調査地点名	項目	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
柳生川	流量	0.214	0.273	0.333	0.281	0.256	0.249	0.316	0.311	0.287	0.374
	BOD	3.3	4.2	3.1	3.4	3.4	2.8	3.2	3.2	6.3	2.7
	COD	6.6	6.5	4.6	5.8	5.8	6.8	6.4	6.9	8.6	6.4
柳生橋	全窒素	3.0	3.1	3.3	3.1	3.5	3.5	2.9	3.0	3.5	2.4
	全磷	0.28	0.25	0.23	0.31	0.35	0.29	0.28	0.29	0.39	0.32
柳生川	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	4.5	3.4	3.2	3.4	13	6.2	11	7.0	10	6.8
	COD	7.2	6.2	5.8	6.4	9.8	8.5	11	10	9.6	11
上富田橋	全窒素	2.9	2.1	2.3	2.4	2.8	2.6	3.1	2.3	3.3	3.2
	全磷	0.33	0.23	0.24	0.25	0.39	0.31	0.48	0.34	0.41	0.42
柳生川	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	4.6	3.0	3.3	3.6	6.2	4.2	4.8	3.6	5.6	6.6
	COD	7.5	6.2	6.2	6.1	7.3	7.7	8.1	8.1	6.4	7.7
市場橋	全窒素	2.6	1.9	2.5	2.1	2.4	2.4	2.4	2.1	3.3	3.0
	全磷	0.28	0.22	0.26	0.23	0.28	0.27	0.26	0.26	0.30	0.29
梅田川	流量	0.294	0.301	0.322	0.258	0.287	0.249	0.300	0.380	0.362	0.423
	BOD	4.9	6.7	4.5	4.9	4.9	4.7	4.5	3.1	3.6	5.0
	COD	7.6	7.1	5.7	7.7	7.7	8.4	8.2	7.2	7.5	8.4
飛越橋	全窒素	6.0	7.2	6.6	7.7	7.4	7.5	6.5	6.3	6.8	6.1
	全磷	0.62	0.53	0.43	0.74	0.80	0.80	0.87	1.1	1.1	1.2
梅田川	流量	0.925	1.092	1.147	1.011	1.032	0.936	0.934	0.989	1.276	1.253
	BOD	2.7	3.5	3.3	2.9	2.9	2.6	2.9	1.9	3.3	2.9
	COD	6.4	5.8	5.0	6.4	6.4	6.8	6.3	6.1	6.6	6.1
御厩橋	全窒素	8.3	8.1	8.7	9.0	8.3	8.1	7.4	7.4	8.7	7.3
	全磷	0.59	0.47	0.51	0.52	0.55	0.59	0.55	0.57	0.57	0.55
梅田川	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	2.6	2.5	2.4	3.1	3.8	1.9	2.0	2.8	3.8	3.7
	COD	6.9	6.0	5.6	6.5	6.6	7.0	6.3	7.2	6.6	7.5
植田橋	全窒素	6.1	5.0	6.3	7.1	6.4	5.0	6.0	5.2	7.3	6.8
	全磷	0.53	0.44	0.43	0.50	0.53	0.54	0.50	0.52	0.62	0.58



(単位) 流量:m<sup>3</sup>/sec、BOD、COD、全窒素、全磷:mg/L

調査地点名	項目	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
浜田川 佐久良橋	流量	0.416	0.420	0.439	0.394	0.445	0.399	0.367	0.395	0.459	0.330
	BOD	3.4	4.5	3.0	3.1	3.1	5.3	2.9	2.0	2.2	2.8
	COD	6.6	6.2	5.2	6.6	6.3	8.2	7.1	6.6	5.5	7.2
	全窒素	9.7	10	10	11	9.5	10	9.5	8.7	10	11
	全磷	0.71	0.59	0.55	0.71	0.71	0.85	0.76	0.62	0.74	0.72
佐奈川 浜田橋	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	3.8	1.5	1.4	1.5	1.2	1.2	1.3	1.3	0.7	2.3
	COD	5.1	3.6	2.8	3.3	3.4	4.1	4.0	4.1	2.4	5.5
	全窒素	4.3	3.8	4.1	4.1	3.4	3.3	4.5	4.7	4.2	4.6
	全磷	0.23	0.17	0.18	0.20	0.19	0.24	0.28	0.29	0.21	0.23
牛川第一 雨水幹線 朝倉川 合流点手前	流量	0.152	0.095	0.095	0.085	0.057	0.089	0.093	0.069	0.089	0.109
	BOD	1.6	1.4	1.6	1.3	1.2	2.3	1.0	0.6	0.9	1.7
	COD	2.1	2.6	2.5	2.4	2.2	2.4	2.6	1.5	1.3	2.0
	全窒素	5.4	3.5	3.3	3.2	3.8	3.6	4.4	2.9	2.9	3.7
	全磷	0.54	0.51	0.28	0.68	0.28	0.56	0.69	0.23	0.65	0.69
江川 東海道 本線下	流量	0.161	0.197	0.208	0.154	0.089	0.155	0.269	0.109	0.353	0.095
	BOD	2.5	2.1	2.2	1.5	2.3	2.1	2.3	2.1	1.1	2.7
	COD	7.3	5.9	6.0	4.6	7.6	7.2	5.4	5.7	4.8	8.0
	全窒素	3.0	1.8	2.3	2.7	2.4	3.4	2.2	2.0	2.3	2.7
	全磷	0.43	0.23	0.17	0.24	0.29	0.20	0.23	0.23	0.42	0.36
二十間川 二十間橋	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	3.0	2.3	3.7	2.0	3.1	3.4	2.8	3.8	4.2	4.5
	COD	8.8	7.8	8.2	6.6	6.3	8.5	6.8	7.8	7.9	8.9
	全窒素	2.5	2.2	2.4	2.4	2.3	2.4	1.3	2.2	1.4	2.4
	全磷	0.37	0.39	0.47	0.45	0.35	0.35	0.41	0.28	0.31	0.36
殿田川 柳生川 合流点手前	流量	0.133	0.106	0.144	0.110	0.101	0.171	0.093	0.066	0.065	0.176
	BOD	6.8	6.1	7.1	6.3	6.6	10	5.2	7.6	8.4	7.7
	COD	12	10	9.0	7.9	9.4	10	8.3	9.6	8.9	9.8
	全窒素	5.5	4.4	4.4	4.3	4.9	6.3	4.1	4.7	5.0	5.3
	全磷	0.70	0.57	0.50	0.63	0.53	0.82	0.77	0.75	0.94	0.87
山中川 本興寺橋	流量	0.173	0.139	0.161	0.143	0.135	0.127	0.189	0.220	0.150	0.131
	BOD	1.9	2.7	2.2	2.6	2.4	2.4	2.4	1.9	1.9	3.4
	COD	5.2	5.1	5.2	5.2	6.1	6.0	4.7	5.4	4.7	5.6
	全窒素	2.8	2.4	2.3	2.6	2.5	3.4	1.6	2.0	2.1	2.4
	全磷	0.19	0.19	0.16	0.24	0.17	0.21	0.18	0.16	0.22	0.19

(単位) 流量:m<sup>3</sup>/sec、BOD、COD、全窒素、全磷:mg/L

調査地点名	項目	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
(県)境川 東海道 新幹線下	流量	0.100	0.088	0.076	0.082	0.061	0.067	0.082	0.088	0.107	0.063
	BOD	3.1	6.7	2.8	3.1	3.5	2.4	2.9	3.3	1.2	2.2
	COD	8.9	11	6.0	6.8	6.7	7.1	6.3	6.6	5.8	5.5
	全窒素	12	11	11	11	10	11	6.2	7.4	5.7	9.2
	全磷	0.70	0.72	0.43	0.51	0.44	0.44	0.49	0.46	0.39	0.27
落合川 落合橋	流量	0.166	0.166	0.329	0.229	0.196	0.201	0.189	0.260	0.251	0.237
	BOD	3.1	4.1	3.3	2.8	2.7	2.8	4.4	4.4	2.4	2.9
	COD	8.7	7.4	7.7	5.9	7.1	8.4	8.3	8.4	6.9	7.7
	全窒素	16	13	13	12	11	15	11	11	12	16
	全磷	0.78	0.62	0.57	0.47	0.54	0.66	0.75	0.69	0.60	0.69
権茂川 梅田川 合流点手前	流量	0.082	0.125	0.155	0.124	0.080	0.115	0.130	0.108	0.129	0.106
	BOD	23	11	12	13	8.2	8.2	6.9	7.7	8.3	5.3
	COD	12	10	10	8.8	8.7	13	9.0	9.1	6.8	6.8
	全窒素	13	11	13	12	11	12	9.7	12	9.5	11
	全磷	0.46	0.42	0.43	0.38	0.41	0.65	0.48	0.38	0.39	0.37
坪口川 坪口橋	流量	0.051	0.053	0.078	0.055	0.048	0.086	0.055	0.036	0.062	0.063
	BOD	4.0	7.9	2.3	3.2	3.1	3.0	3.7	3.7	4.1	5.1
	COD	8.7	8.9	6.1	5.5	5.8	6.2	6.9	6.7	5.7	7.5
	全窒素	17	13	13	13	13	14	11	12	13	15
	全磷	1.0	0.91	0.79	0.88	0.73	0.90	1.2	0.73	0.69	0.93
西の川 鎌田橋	流量	0.155	0.176	0.187	0.204	0.146	0.202	0.204	0.235	0.233	0.150
	BOD	3.5	4.3	3.0	3.1	3.8	3.3	3.3	3.0	3.1	3.5
	COD	9.4	8.3	7.8	6.6	7.8	9.6	6.5	7.1	6.6	7.2
	全窒素	16	13	12	13	14	14	8.9	11	11	14
	全磷	0.62	0.57	0.53	0.57	0.71	0.80	0.74	0.69	0.80	0.70
内張川 塩浜橋	流量	0.044	0.036	0.026	0.025	0.015	0.068	0.060	0.019	0.035	0.064
	BOD	1.5	4.4	2.8	1.1	2.3	2.2	1.7	1.8	0.8	1.9
	COD	5.4	5.7	5.3	3.5	3.5	5.2	4.3	4.4	3.9	3.8
	全窒素	6.5	5.0	5.5	5.3	4.4	6.3	3.6	3.7	4.6	5.4
	全磷	0.087	0.16	0.14	0.13	0.14	0.12	0.12	0.10	0.23	0.063
境川 万溪橋	流量	0.089	0.084	0.098	0.083	0.056	0.066	0.056	0.084	0.072	0.057
	BOD	2.1	3.8	4.8	3.2	3.4	3.4	2.3	2.7	1.5	3.3
	COD	7.5	8.0	9.2	6.4	7.1	8.2	5.5	7.0	5.9	6.9
	全窒素	6.7	5.3	7.5	5.7	6.7	6.2	3.6	4.7	5.1	4.3
	全磷	0.50	0.51	0.68	0.52	0.63	0.72	0.66	0.69	0.64	0.53

(単位) 流量:m<sup>3</sup>/sec、BOD、COD、全窒素、全磷:mg/L

調査地点名	項目	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
紙田川 境橋	流量	0.381	0.310	0.457	0.371	0.241	0.259	0.313	0.370	0.359	0.393
	BOD	3.7	4.4	3.5	4.0	5.3	3.7	4.0	4.8	6.5	5.3
	COD	8.7	8.3	8.2	7.5	9.6	8.2	7.4	8.2	8.4	8.9
	全窒素	12	10	11	14	12	14	10	11	12	14
	全磷	1.2	0.76	0.74	1.0	1.1	0.69	0.80	0.92	1.2	1.0
切畑川 国道259号線下	流量	0.025	0.026	0.022	0.016	0.020	0.021	0.017	0.028	0.016	0.027
	BOD	23	11	17	13	11	38	16	43	26	12
	COD	31	15	22	18	18	26	24	43	33	16
	全窒素	18	10	15	18	14	25	26	25	22	18
	全磷	4.8	2.7	2.8	2.9	2.6	4.3	4.7	3.7	2.4	2.4
精進川 梅田川合流点手前	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	2.1	3.1	1.1	2.2	2.3	3.9	2.9	2.2	3.6	2.7
	COD	7.6	6.6	5.4	4.9	4.6	7.4	5.4	5.0	5.2	5.8
	全窒素	11	9.3	9.4	9.9	8.5	10	5.7	6.2	8.6	9.8
	全磷	1.4	0.25	0.24	0.30	0.19	0.26	0.22	0.16	0.24	0.20
沢渡川 梅田川合流点手前	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	8.3	7.7	10	9.5	6.3	8.4	6.3	6.3	3.6	4.4
	COD	13	12	14	11	12	12	10	9.5	9.3	7.6
	全窒素	12	8.0	9.4	8.7	8.1	11	4.4	7.4	6.6	11
	全磷	0.54	0.50	0.44	0.42	0.51	0.50	0.45	0.30	0.32	0.33
藤並川 梅田川合流点手前	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	5.9	5.4	2.9	3.6	5.3	4.3	3.6	3.3	2.5	4.1
	COD	8.9	7.6	6.5	6.2	7.8	7.3	6.1	5.9	5.3	6.6
	全窒素	10	7.7	7.2	7.2	6.9	8.3	5.8	6.7	6.5	9.1
	全磷	0.74	0.64	0.50	0.68	0.62	0.69	0.85	0.64	0.75	0.83
百々川 梅田川合流点手前	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	5.6	5.7	3.9	5.0	5.4	5.2	4.3	4.7	3.5	4.1
	COD	11	8.8	9.7	8.5	7.5	8.7	8.5	9.2	7.8	8.9
	全窒素	7.2	5.4	5.5	4.9	5.0	6.4	5.1	5.0	4.5	6.8
	全磷	1.3	1.0	0.80	1.0	0.91	1.3	1.6	1.2	1.0	1.4
植田大池排水路 植田小学校北	流量	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	BOD	6.2	4.9	3.0	11	3.9	4.5	3.2	7.0	4.9	4.1
	COD	10	8.6	8.2	9.6	12	6.8	6.3	11	8.0	7.0
	全窒素	11	6.9	8.0	8.9	6.3	10	5.9	10	8.4	12
	全磷	0.74	0.59	0.60	1.0	0.55	0.72	0.88	0.96	0.67	0.87

平成28年度 豊橋市表浜流域水質等調査結果一覧表

河川名		西方部川	浜辺川	荒谷川
項目/年月日		H28. 9. 27	H28. 9. 27	H28. 9. 27
気温	℃	26.0	25.2	25.8
水温	℃	20.6	21.8	23.0
外観		中黄色	無色	無色
臭気		その他	無臭	無臭
透視度	cm	33	> 50	> 50
流量	m <sup>3</sup> /s	0.026	0.027	0.031
全水深	m	0.07	0.06	0.12
pH		7.2	7.5	7.4
DO	mg/L	7.6	9.0	8.3
BOD	mg/L	12	1.9	2.3
COD	mg/L	26	7.1	6.9
SS	mg/L	4	2	2
n-ヘキサン抽出物質	mg/L	1.1	< 0.5	< 0.5
全窒素	mg/L	13	12	7.7
全燐	mg/L	0.84	0.098	0.052
全亜鉛	mg/L	0.006	0.004	0.005
カドミウム	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
全シアン	mg/L	< 0.1	< 0.1	< 0.1
鉛	mg/L	< 0.005	< 0.005	< 0.005
六価クロム	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01
砒素	mg/L	0.006	< 0.005	< 0.005
総水銀	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
PCB	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
ジクロロメタン	mg/L	< 0.002	< 0.002	< 0.002
四塩化炭素	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
1,2-ジクロロエタン	mg/L	< 0.0004	< 0.0004	< 0.0004
1,1-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01
シス-1,2-ジクロロエチレン	mg/L	< 0.004	< 0.004	< 0.004
1,1,1-トリクロロエタン	mg/L	< 0.1	< 0.1	< 0.1
1,1,2-トリクロロエタン	mg/L	< 0.0006	< 0.0006	< 0.0006
トリクロロエチレン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001
テトラクロロエチレン	mg/L	< 0.0005	< 0.0005	< 0.0005
1,3-ジクロロプロペン	mg/L	< 0.0002	< 0.0002	< 0.0002
ベンゼン	mg/L	< 0.001	< 0.001	< 0.001
セレン	mg/L	< 0.002	< 0.002	< 0.002
硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素	mg/L	0.36	9.8	5.7
ふっ素	mg/L	0.45	< 0.08	0.61
ほう素	mg/L	0.25	0.14	0.27
フェノール類	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01
銅	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01
クロム	mg/L	< 0.01	< 0.01	< 0.01

(5) 海域の水質平均値の経年変化(平成19年度～平成28年度)

(mg/L)

調査地点名	測定項目	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
渥美湾(甲)	C O D	表層	3.8	4.9	3.3	3.3	4.5	5.2	3.8	4.5	5.9	4.6
		中層	3.9	4.8	3.4	3.5	3.7	4.3	3.1	4.3	4.9	4.2
		全層	3.9	4.9	3.3	3.4	4.1	4.8	3.4	4.4	5.4	4.4
(A-13)	全窒素	表層	0.46	0.43	0.57	0.47	0.60	0.62	0.71	0.63	0.60	0.63
		中層	0.37	0.35	0.40	0.39	0.39	0.42	0.39	0.53	0.53	0.39
		全層	0.42	0.39	0.48	0.43	0.49	0.52	0.55	0.59	0.57	0.51
新西浜沖	全燐	表層	0.049	0.051	0.046	0.048	0.073	0.088	0.057	0.049	0.062	0.062
		中層	0.047	0.051	0.047	0.048	0.061	0.052	0.049	0.053	0.053	0.059
		全層	0.048	0.051	0.047	0.048	0.067	0.070	0.053	0.054	0.057	0.061
神野・田原地先海域 (A-11)	C O D	表層	3.6	4.5	4.0	3.5	3.5	4.5	3.4	4.0	6.0	4.5
		中層	3.2	4.1	3.7	3.4	3.4	3.9	2.9	3.9	4.5	4.2
		下層	-	-	-	-	-	-	3.0	3.7	4.8	3.7
		全層	3.4	4.3	3.9	3.4	3.5	4.2	3.1	3.9	5.1	4.2
二十間川沖	全窒素	表層	0.38	0.32	0.52	0.47	0.45	0.42	0.46	0.63	0.63	0.41
		中層	0.37	0.31	0.40	0.42	0.45	0.36	0.42	0.41	0.42	0.42
		下層	-	-	-	-	-	-	0.33	0.41	0.36	0.38
		全層	0.37	0.32	0.46	0.44	0.45	0.40	0.41	0.48	0.47	0.40
二十間川沖	全燐	表層	0.045	0.047	0.051	0.054	0.054	0.055	0.045	0.054	0.079	0.050
		中層	0.045	0.045	0.044	0.046	0.047	0.047	0.039	0.048	0.045	0.048
		下層	-	-	-	-	-	-	0.038	0.056	0.047	0.058
		全層	0.045	0.046	0.047	0.050	0.050	0.051	0.041	0.053	0.057	0.052
神野・田原地先海域 (A-3)	C O D	表層	5.2	6.0	4.9	5.5	5.2	5.9	7.0	7.1	7.3	6.9
		中層	3.4	4.5	4.0	3.5	3.6	4.1	3.2	3.7	4.5	3.6
		下層	-	-	-	-	-	4.0	-	-	-	-
		全層	4.3	5.3	4.5	4.5	4.4	4.7	5.1	5.6	5.9	5.3
神野ふ頭	全窒素	表層	2.4	1.6	2.2	1.8	2.2	2.1	2.5	2.3	1.9	2.1
		中層	0.56	0.42	0.73	0.64	0.74	0.72	0.57	0.55	0.45	0.52
		下層	-	-	-	-	-	0.52	-	-	-	-
		全層	1.5	1.0	1.5	1.2	1.5	1.1	1.5	1.4	1.2	1.3
神野ふ頭	全燐	表層	0.22	0.21	0.21	0.20	0.23	0.20	0.21	0.25	0.23	0.25
		中層	0.066	0.090	0.090	0.094	0.097	0.088	0.069	0.10	0.084	0.088
		下層	-	-	-	-	-	0.086	-	-	-	-
		全層	0.14	0.15	0.15	0.15	0.16	0.12	0.14	0.21	0.16	0.17
神野・田原地先海域 (A-12)	C O D	表層	4.2	4.2	3.4	4.4	4.0	4.4	4.9	4.9	6.4	4.8
		中層	3.4	4.0	3.2	3.3	3.1	3.8	3.4	3.6	4.7	3.3
		全層	3.8	4.1	3.3	3.8	3.6	4.1	4.2	4.6	5.6	4.1
木材港	全窒素	表層	1.0	0.68	0.82	0.94	0.68	0.97	1.1	1.2	1.3	0.90
		中層	0.43	0.36	0.53	0.61	0.43	0.58	0.56	0.52	0.54	0.48
		全層	0.72	0.53	0.67	0.78	0.56	0.78	0.85	0.87	0.91	0.71
木材港	全燐	表層	0.14	0.13	0.13	0.13	0.13	0.14	0.15	0.16	0.15	0.15
		中層	0.075	0.090	0.087	0.087	0.086	0.085	0.087	0.083	0.089	0.090
		全層	0.10	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.12	0.16	0.12	0.12

(6)池水質調査結果

ア. 池水質調査結果(平均値)

測定項目		地名						
		1. 嵩山池	2. 長三池	3. 水神池	4. 沢渡池	5. 上庄池	6. 七股池	7. 向山大池
生活環境項目	pH	7.8	9.4	8.3	8.0	7.9	8.2	8.3
	D O (mg/L)	12	15	9.0	10	10	11	10
	B O D (mg/L)	6.9	7.6	3.5	3.5	4.8	9.3	4.0
	C O D (mg/L)	9.4	13	8.3	6.6	7.0	13	9.2
	S S (mg/L)	28	29	14	18	15	53	18
	全窒素 (mg/L)	4.6	3.2	1.1	7.5	1.0	3.5	1.2
	全 磷 (mg/L)	0.25	0.58	0.071	0.27	0.13	0.96	0.11
その他の項目	電気伝導率 (mS/m)	19	20	10	37	9.4	17	13
	陰イオン界面活性剤 (mg/L)	0.02	0.04	< 0.01	< 0.01	0.01	0.01	< 0.01
	クロロフィル-a (mg/m <sup>3</sup> )	100	180	64	37	77	230	44

(注) 陰イオン界面活性剤については年1回、生活環境項目等は年4回測定

イ. 池の水質平均値の経年変化(平成19年度～平成28年度)

(mg/L)

池名	測定項目	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
植田大池	B O D	8.4	6.0	8.8	6.6	4.9	6.7	6.4	-	2.6	-
	C O D	14	11	16	14	14	15	16	-	9.2	-
	全窒素	1.2	0.88	1.7	2.1	2.0	1.9	1.6	-	1.9	-
	全燐	0.14	0.14	0.15	0.18	0.19	0.26	0.29	-	0.17	-
	クロロフィル-a	68	94	61	64	26	77	88	-	41	-
嵩山池	B O D	-	-	-	-	-	-	-	7.7	-	6.9
	C O D	-	-	-	-	-	-	-	14	-	9.4
	全窒素	-	-	-	-	-	-	-	3.7	-	4.6
	全燐	-	-	-	-	-	-	-	0.17	-	0.25
	クロロフィル-a	-	-	-	-	-	-	-	185	-	100
長三池	B O D	11	10	15	12	8.0	15	9.2	9.6	7.7	7.6
	C O D	25	27	25	17	19	18	22	22	24	13
	全窒素	2.5	3.3	4.8	4.3	4.3	3.5	4.2	3.7	4.9	3.2
	全燐	0.31	0.52	0.55	0.52	0.54	0.62	0.58	0.55	0.75	0.58
	クロロフィル-a	160	390	200	140	140	140	140	280	210	180
向山大池	B O D	-	-	6.1	5.8	4.7	4.8	5.4	5.5	2.6	4.0
	C O D	-	-	24	19	14	12	19	17	10	9.2
	全窒素	-	-	2.0	1.9	1.6	1.0	1.6	1.7	1.4	1.2
	全燐	-	-	0.13	0.13	0.10	0.10	0.10	0.091	0.083	0.11
	クロロフィル-a	-	-	34	58	42	28	58	72	35	44
水神池	B O D	2.5	1.9	1.9	1.5	2.7	2.1	1.5	1.5	1.7	3.5
	C O D	5.3	6.2	4.8	4.2	5.5	4.9	5.4	6.6	6.9	8.3
	全窒素	0.56	0.70	0.37	0.52	0.57	0.33	0.81	0.42	0.56	1.1
	全燐	0.048	0.12	0.034	0.047	0.042	0.048	0.048	0.066	0.059	0.071
	クロロフィル-a	4.5	30	6.0	8.0	7.8	7.0	6.5	11	11	64
七股池	B O D	9.8	15	15	8.7	8.6	12	9.0	11	9.2	9.3
	C O D	15	23	25	17	18	19	24	23	20	13
	全窒素	2.3	4.2	4.8	3.9	3.2	3.1	3.7	3.3	4.6	3.5
	全燐	0.41	0.81	0.71	0.74	1.8	0.78	0.87	0.42	0.73	0.96
	クロロフィル-a	110	360	240	58	89	130	130	360	130	230
沢渡池	B O D	7.1	9.6	14	6.7	6.7	8.0	13	5.0	2.1	3.5
	C O D	13	12	14	10	11	12	20	9.0	7.7	6.6
	全窒素	10	9.6	9.5	10	11	7.9	7.0	7.7	8.6	7.5
	全燐	0.27	0.23	0.27	0.29	0.29	0.35	0.43	0.19	0.26	0.27
	クロロフィル-a	59	230	160	70	40	90	190	110	30	37

※ クロロフィル-aについてはmg/m<sup>3</sup>

(mg/L)

池名	測定項目	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
上庄池	B O D	3.9	3.4	3.7	2.6	3.0	5.9	8.1	4.4	5.7	4.8
	C O D	7.8	7.3	7.6	5.5	6.2	7.9	14	9.0	14	7.0
	全窒素	0.89	0.93	1.3	1.2	1.1	0.90	2.2	1.0	2.7	1.0
	全燐	0.069	0.082	0.069	0.076	0.095	0.11	0.17	0.08	0.20	0.13
	クロロフィル-a	29	69	31	14	15	20	130	90	110	77
鯰池	B O D	6.2	2.5	-	-	-	-	-	-	-	-
	C O D	9.5	9.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	全窒素	0.82	0.65	-	-	-	-	-	-	-	-
	全燐	0.057	0.12	-	-	-	-	-	-	-	-
	クロロフィル-a	36	30	-	-	-	-	-	-	-	-

※ クロロフィル-aについてはmg/m<sup>3</sup>



## (7)底質調査結果

調査地点		豊川	豊川	柳生川	柳生川	梅田川	海域	海域	海域	海域	
		渡津橋	放水路 前芝 大橋	柳生橋	市場橋	御厩橋	A-3 神野 ふ頭	A-11 二十間 川沖	A-12 木材港	A-13 新西浜沖	
測定項目		採取年月日					採取年月日				
一般項目	採取時刻		12:15	12:55	10:15	11:48	11:00	9:50	8:45	9:15	8:10
	天候		晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	晴れ	曇り	曇り	曇り	曇り
	気温	℃	25.6	25.0	23.2	24.8	24.5	14.5	13.6	13.8	13.0
	泥温	℃	21.2	22.9	21.0	23.0	22.1	19.2	19.0	18.0	19.0
	臭気		微貝類 臭	微硫化 水素臭	微川藻 臭	中硫化 水素臭	微川藻 臭	微硫化 水素臭	微硫化 水素臭	微硫化 水素臭	微硫化 水素臭
	強熱減量	%	1.11	1.18	0.87	4.82	1.72	12.06	10.17	11.23	9.21
	含水率	%	24.23	25.53	25.43	28.25	24.27	50.64	58.7	52.16	55.75
	酸化還元電位	mV	-18	+34	+283	-393	+304	-410	-390	-320	-390
	pH		7.6	7.4	6.9	7.2	6.8	7.8	7.7	8.0	7.9
	COD	mg/g	1.8	2.2	1.4	15	3.5	15	19	13	15
健康項目	カドミウム	mg/kg	<0.05	<0.05	<0.05	0.21	<0.05	0.38	0.26	0.17	0.34
	全シアン	mg/kg	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5	<0.5
	鉛	mg/kg	7.6	2.5	3.5	16	6.1	29	12	16	14
	砒素	mg/kg	0.8	0.8	0.6	2.6	1.0	6.2	9.9	6.3	4.0
	総水銀	mg/kg	0.31	0.26	0.27	0.17	0.11	0.10	0.20	0.08	0.15
	PCB	mg/kg	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01
特殊項目	フェノール類	mg/kg	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	0.4
	銅	mg/kg	5.5	6.3	10	36	12	61	37	41	45
	亜鉛	mg/kg	35	30	68	160	56	330	140	160	160
	クロム	mg/kg	41	27	23	49	25	76	96	73	100
	全窒素	mg/kg	180	130	130	1200	220	2400	2400	2100	2300
	全磷	mg/kg	140	150	110	370	270	1300	440	700	700

(注) 底質の処理・処分等に関する指針

①ダイオキシン類 150pg-TEQ/gを超えるもの

②水 銀 25mg/kgを超えるもの(河川・湖沼)

海域については平均潮差、溶出率及び安全率等により算出した値とする。

ただし、沿岸流の強い海域においては河川及び湖沼に準ずるものとする。

河口部において潮汐の影響を強く受ける場合は海域に準ずる。

③P C B 10mg/Kgを超えるもの

#### 4. 騒音・振動

##### (1) 騒音・振動に係る環境基準

###### ア. 騒音の環境基準

昭和 46 年 5 月 25 日 閣議決定

改正 平成 7 年 11 月 29 日 愛知県告示第 895 号

改正 平成 10 年 9 月 30 日 環境庁告示第 64 号

改正 平成 11 年 3 月 26 日 愛知県告示第 261 号

改正 平成 24 年 3 月 30 日 豊橋市告示第 124 号

類型	該当地域	基準値				
		一般地域		道路に面する地域		
		昼間	夜間	地域区分	昼間	夜間
A	第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域	55 デシベル 以下	45 デシベル 以下	2車線以上の車 線を有する道 路に面する地域	60 デシベル 以下	55 デシベル 以下
	第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 <small>都市計画区域で用途地域の定められていない地域</small>			2車線以上の車 線を有する道 路に面する地域	65 デシベル 以下	60 デシベル 以下
C	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	60 デシベル 以下	50 デシベル 以下	車線を有する道 路に面する地域		

時間区分：昼間…6:00～22:00 夜間…22:00～翌日の6:00

(備考) 車線とは、1縦列の自動車及安全かつ円滑に走行するために必要な一定の幅員を有する帯状の車道部分をいう。

※「幹線道路を担う道路に近接する空間(高速自動車国道、一般国道、県道、4車線以上の市町村道等の道路端から15ないし20メートルの範囲)」については、特例として次の基準が定められている。

昼間	夜間
70 デシベル以下	65 デシベル以下
個別の住居等において騒音の影響を受けやすい面の窓を主として閉めた生活が営まれていると認められるときは、屋内へ透過する騒音に係る基準(昼間にあっては、45 デシベル以下、夜間にあっては 40 デシベル以下)によることができる。	

###### イ. 新幹線鉄道騒音に係る騒音の環境基準

昭和 50 年 7 月 29 日 環境庁告示第 46 号

昭和 52 年 4 月 30 日 愛知県告示第 484 号

改正 平成 7 年 11 月 29 日 愛知県告示第 897 号

地域の種類	該当地域	基準値
I	第1種低層住居専用地域・第2種低層住居専用地域・第1種中高層住居専用地域・第2種中高層住居専用地域・第1種住居地域・第2種住居地域・準住居地域及び市街化調整区域	70 デシベル以下
II	近隣商業地域・商業地域・準工業地域・工業地域	75 デシベル以下

東海道新幹線の線路の中心線から左右両側にそれぞれ 400 メートルまでの地域。ただし、鉄けた橋りょうについては、左右両側にそれぞれ 600 メートルまでの地域及び橋りょうの橋けたの先端部と線路の中心線の交点を中心に、それぞれ橋りょうの反対側に半径 600 メートルの円内の地域とし、トンネルのうち、坂の坂トンネルに限り、トンネルの出入口と線路の中心線の交点を中心にそれぞれトンネル側に半径 400 メートルの円内の地域。ただし東海道新幹線敷地、河川敷及び工業専用地域を除く。

(2)騒音・振動に係る限度値

ウ. 自動車騒音の限度

昭和 46 年 6 月 23 日 総 理 府 令 第 3 号  
 厚生省  
 昭和 50 年 3 月 26 日 愛 知 県 告 示 第 269 号  
 改正 平成 5 年 10 月 28 日 総 理 府 令 第 47 号  
 改正 平成 7 年 11 月 29 日 愛 知 県 告 示 第 894 号  
 改正 平成 11 年 3 月 17 日 豊 橋 市 告 示 第 50 号  
 改正 平成 12 年 3 月 17 日 豊 橋 市 告 示 第 52 号

区域 区分	該 当 地 域	道路に面する区域				幹線道路 近接区域	
		1 車 線		2車線以上		昼 間	夜 間
		昼 間	夜 間	昼 間	夜 間		
a	第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域	65 デシベル	55 デシベル	70 デシベル	65 デシベル	75 デシベル	70 デシベル
b	第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 都市計画区域で用途地域の定められていない地域			75 デシベル	70 デシベル		
c	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域	75 デシベル	70 デシベル	デシベル	デシベル		

時間区分: 昼間…6:00～22:00 夜間…22:00～翌日の6:00

エ. 道路交通振動の限度

昭和 52 年 10 月 17 日 愛 知 県 告 示 第 1049 号  
 改正 平成 7 年 11 月 29 日 愛 知 県 告 示 第 900 号  
 改正 平成 11 年 3 月 17 日 豊 橋 市 告 示 第 51 号

区域の 区 分	地 域	時間の区分	
		昼 間 7時～20時	夜 間 20時～7時
第1種 区 域	第1種低層住居専用地域・第2種低層住居専用地域・第1種中高層住居専用地域・第2種中高層住居専用地域・第1種住居地域・第2種住居地域及び準住居地域	65 デシベル	60 デシベル
第2種 区 域	近隣商業地域・商業地域・準工業地域・工業地域 市街化調整区域	70 デシベル	65 デシベル